ひばり

豊川市立小坂井東小学校
校長室だより　第８号
令和６年１２月１１日（水）

「人権」を大切にするために

１２月６日（金）に低学年と高学年の２部制で人権のお話を聞く集会をひらきました。昨年度に引き続いて、小東・小西・坂中の３校に縁の深い西郷知之先生を講師にお招きしました。

「すべての人は人らしくおだやかで幸せな人生を送りたいと願っていい」という人権の意味をはじめ、人を大切にする行動、自分を大切にする行動について、体験談を交えてわかりやすく語っていただき、子どもたちはそれぞれ腹に落ちるところがあった様子でした。

＜集会の振り返りから＞

◇ギターがとてもじょうずでした。いままでは、わるいことをしていたらすぐにちゅういをしていたけど、まずはどうしてそういうことをしているのかきくようにします。

◇手話と点字は人の心（願い）を読み取ってつくられたことがわかりました。これからは「よかったね」をたくさん言って、「なんで⁜」は言わないようにしたいです。

◇「×アルバム」を忘れないでという言葉が一番心に残りました。なぜなら、私は小さいときの×アルバムを頑張って忘れようとしていたからです。でも、お話を聞いて、もう忘れようとは思わずに、同じことをしないようにしようと思いました。

実施校に選ばれた「人権の花運動」では、ペア学年で仲良く植え付けをしたノースポールを各学級でお世話しています。毎朝、登校してすぐの時間に、水やり用のペットボトルを持った子どもたちが校舎の周りを行き来しています。また、栽培委員会の呼びかけを受けて、生長の様子を写真やコメントで発信し合っています。心を込めて育てた花のプランターは、１月に贈呈式を行って、地域の施設に置いていただく予定です。

こうした取り組みに加えて、校内では「五・七・五のありがとう」の募集もしています。日頃“ありがとう”という気持ちになったできごとが題材です。校長室前のポストで受け付け中です。「人権の花運動」の終わり式で優秀作品を発表します。お楽しみに。

＜一斉下校のときに＞

１１月の下旬、「ピン、ペタ、グー」を合言葉に保健委員会が“よい姿勢”を呼びかけました。１週間の取り組みを終えて、特によくできたクラスの発表があった日の帰り、校門から出ていく子が「１年月組、今日選ばれた！」とぴかぴか笑顔で教えてくれました。